

募集中

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

三月二十三日(月)・四月二十七日(月)
五月二十九日(金)・六月二十三日(火)
七月二十一日(火)

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かっぱれ・ヨーガ等があります。

◆早朝洗心坐禅会(申込不要)

毎週日曜日 朝六時半～八時半
会費 無料
坐禅用のイスもご用意しています。

◆写経会(申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時
(但し、七月、八月はお休み)
納経料は 一卷五〇〇円(龍雲寺に納経)
来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。
イス席もご用意しています。

★ぜひ、御来場ください

東京教区御詠歌大会・青鳳会十周年記念公演

日時 平成二十七年三月十日(火)
開演 午後一時より(開場十二時半)
場所 成城ホール

世田谷区成城六―二―一
☎〇三―三四八二―一三三三
入場 無料 予約不要

来る三月、閑栖和尚が宗務総長時代に命名した御詠歌団体「青鳳会」が、結成十周年を迎えます。それを記念いたしました。臨濟宗妙心寺派東京教区の御詠歌大会で特別に公演をおこないます。「青鳳会」は三十名ほどの全国の妙心寺派若手僧侶の集まりで、定期的に練習をおこなっており、その御詠歌は素晴らしいものがあります。たくさんのお坊さんがステージで御詠歌を奉詠いたしますし、色々な趣向もあるようです。また、同時に東京教区の御詠歌支部の発表もあります。もちろん、龍雲寺支部も奉詠いたします。成城ホールという素晴らしい会場、日々研鑽を積まれた御詠歌を皆さまにお聞き頂きたいと存じます。
入場も無料ですので、皆さまも是非お誘い合わせの上、ご来場ください。

編集後記

○皆様が、お過ごしですか? ○境内の福寿草と河津桜が咲いて皆様を、お待ちしております。メジロ、オナガ等の小鳥達が競争しておしゃべりをしてるようです。○田中知継様より五葉の松を、相原麗子様より椿、躑、茶道具を頂きました。大切にさせて頂きます。○三月一日から第八次四国八十八ヶ所巡礼結願の旅へ三十名の引率で結願後、高野山と、ご本山妙心寺へ。妙心寺は丁度JR冬の旅の期間中で非公開の三門や衡梅院が特別拝観出来ます。○第九次四国巡礼は四月六日から、第四次西国三十三観音巡礼は五月十八日から、どちらも第一番札所からスタートです。この機会に、ぜひお申し込み下さい。方丈さんは、四国、西国、五山の送り火の旅に参加します。一緒に、お参りしませんか? ○私は今まで沢山の方々と旅してきました。ゆつくり、のんびり、美味しい物を頂いて。○方丈さんと私は隠居の身です。私も、そろそろ、今回スタートした巡礼が結願になりましたら、お休みさせて頂きます。○応接間の窓側のシクラメンは一昨年頂いたシクラメンですが元気に咲いています。○バラ園は寒い中、磯貝様が冬のお年入れをして下さいました。五月のバラ園が楽しみです。○三月十日午後一時からの成城ホールである御詠歌大会に龍雲寺支部は三十五名で登壇します。ぜひ、お越し下さい。山内一同おかげさまで元氣です。お彼岸会におはぎを作ってお待ちしています。
要子

臨濟宗妙心寺派

龍雲寺 花園会報

二〇一五年 春彼岸号

監修/細川晋輔

編集/細川要子

〒一五四―〇〇三
東京都世田谷区野沢三―三八―一

TEL〇三―三四二―〇二三八
FAX〇三―三四一―八九六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

新命住職 細川晋輔

早いもので、平成二十七年も三月を迎え、「寒さ暑さも彼岸まで」の言葉通り、ようやく待ちに待った春がやってきました。

「光陰まことに矢の如し」と言われるように、仏教では「諸行無常」とされ、繰り返される毎日の中に身を置いてみると、気付かぬうちに時が過ぎてゆくだけが実感されます。鎌倉円覚寺の横田南嶺管長様下は、「無常」のことを、蛍光灯に例えて、このように説明されます。

「蛍光灯は、実際は点いては消えるを繰り返しているのですが、ただその点滅が細やかで速やかであるために、私達にはずっと点いているように見える。いのちも生じては滅し、滅しては生じの繰り返しで、一瞬たりとも同じ状態ではないの

ですが、その一瞬一瞬の心の変化に気付くほど私達は敏感ではないので同じと錯覚してしまう」私も正直なところ、蛍光灯が「点いたり消えたりを繰り返している」ことを考えながら日々を過ごしているかと言われると、自信がもてません。それどころか、蛍光灯が部屋を明るくしているというところすらも忘れてしまっています。けれども、蛍光灯の寿命が尽きてチカチカします。そしてある日突然、パッと点かなくなってしまう。真っ暗な部屋に身を置いて初めて、蛍光灯の明かりというものが、いかに自分の生活にとって大事であっ

たかを思い知らされるのです。

「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」この詩は、「毎年春が来ると、桜の花は見事に咲き誇ります。しかし、昔その桜を共に楽しんだ人はもうこの世にいない。」という自然の悠久さと人間の「無常」を歌ったものです。しかし、それだけではありません。咲いている花も同じように咲いているように見えても、今年の花は今年だけの花であり、来年には桜が枯れてしまうことも十分にあり得るのです。だからこそ、今年の花の花を、今年私が十分に楽しんで生きることが大切なのではないでしょうか。

今年は、去年より一日増やして「龍雲寺桜ライトアップ」を行います。また、昼間は茶室・南薫亭にて、龍雲寺茶道部が抹茶をお出しいたします。ぜひ、龍雲寺の平成二十七年の桜を楽しんで頂ければ幸いです。

春季彼岸会法要

平成二十七年三月二十一日(土)

於・龍雲寺本堂
十二時 御詠歌奉詠
十二時四十五分 法話
十三時半 法要
※おはぎと、お漬物をご用意しています。
どうぞお参り下さい。申し込み不要。

行事予定

- 三月 一日(日) 四日(水) 第八次四国八十八ヶ所巡礼(結願)
- 三月 十日(火) 御詠歌大会(成城ホール)
- 三月二十一日(土) 春季彼岸会
- 四月 八日(水) 花祭り
- 四月 六日(月)
- 五月 十八日(月) 二十一日(木) 第九次四国八十八ヶ所巡礼(①番より)
- 五月 十八日(月) 二十一日(木) 第四次西国三十三ヶ所巡礼(①番より)
- 六月 三峰様名講
- 七月 十三日(月) 十五日(水) 棚経
- 七月 十七日(金) 施餓鬼会
- 七月三十一日(金) 八月二日(日) 盆踊り大会(於 駐車場)
- 八月 十五日(土) 十七日(月) 第十次妙心寺と五山の送り火の旅
- 九月二十三日(水) 秋季彼岸会
- 九月二十八日(月) 三十日(水) 全国奉詠大会(於 札幌)
- 十月 十七日(土) 第十二回天満敦子バイオリンコンサート

暑さ寒さも彼岸までといわれる様に、寒さもやわらぎ暮らしよい日が続きます。皆様方にはご機嫌よくお暮らしの事と思います。小柄にとつて暖かくなると淋しい思いをする事が一つあります。それは十二月過ぎより二月一パイでしようか、境内の庭に傷んだ果物をおいておくと、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、ホホジロ、オナガ等々の鳥が寄つて来ます。ここ数年は野生化したインコウまでも群れをなして寄つて来ます。その様子を見るのが楽しみです。ですが、暖かくなると他に餌があるのでしようか、もう寄つて来ません。原色の鳥が飛び交う光景は日本の光景とは思えません。亜熱帯の地方に来たような思いがします。

この状況も温暖化の現象の一つでしょうか。温暖化の原因の一つに炭酸ガスの温室効果があると云われています。その為、工場や自動車から排出する炭酸ガスなどの削減が叫ばれています。企業などによる低公害のエネルギーの開発、ガス等の回収等、いろいろの方法が検討されています。これらの課題はいずれ解決されると思われます。しかし一番問題なのは私達の身近な生活の中で使っている多大なエネルギーの削減です。それは一度覚えたこの快適な生活のレベルを少し落とすことです。一つ満たせばまた一つ、次から次へと欲望を募らせるのではなく、この辺で「足を知る」生活に満足する事です。

禅語の一つに「の衣するに尽くる無し、数樹の食するに余り有り」一つの小さな池のはすの葉さえ在れば着るものはそれで十分、他に何もいらぬ。数本の松さえあれば食べるものはそれで十分、他に何もいらぬ」とあります。勿論、はすの葉だけで着るものになるわけがありません。松の実だけで食べるものになるわけがありません。家は雨の漏らぬ程、食は飢えぬ程、衣は身を包んで人に不快感を与えぬ程、お金は何と衣生活できる程、それで充分、足る事を知れというわけです。

「知足」の言葉重い言葉です。

◆龍雲寺ダレマトーク(法話会)

共催：東京禅センター

松原泰道師が亡くなられてから、お休みしておりました「龍雲寺法話会」を復活することになりました。「法話会」では堅苦しいので「ダレマ(法)」、「トーク(話)」となりました。記念すべき第一回目は、大本山妙心寺派宗務総長・栗原正雄師がお話し下さいます。閑栖の景一和尚が宗務総長時代に、教学部長としてご尽力頂いた広島県福山市鞆町の和尚様で、妙心寺派の布教師でもあられます。前座には私(音輔)も少しの時間ですが話をさせていただきます。この法話会は、要予約となっております。彼岸会にお越し下さる方はその時に、それ以外の方は龍雲寺ではなく、東京禅センターに直接電話かFAXで申込み下さいませ。

また、第二回の六月二十七日(土)は、鎌倉円覚寺・横田南嶺管長親下に御来山頂きます。「精一杯生きよう」と題されまして、故・松原泰道師とのご縁をお話し下さるそうです。二回目の予約開始は、第一回目の法話会から受付させていただきますので、こちらも宜しくお願い申し上げます。

【日時】 四月二十五日(土) 午後二時半から四時半まで(開場 午後二時)

【場所】 龍雲寺本堂

【講師】 妙心寺派宗務総長 栗原正雄師

【演題】 「無常をたのしむ」

【参加費】 無料

※要予約(東京禅センター)

申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。

★東京禅センター TEL〇三(五七七九)三八〇〇 FAX〇三(五七七九)三八〇一

ご案内

◆野沢龍雲寺 てらこやこども論語塾

この度、陽明学の大家である安岡正篤先生の孫にあたる安岡定子先生をお招きして、論語塾を開催致します。幼稚園児、小学生から大人まで年齢を問わずにご参加頂けます。参加者みんなで声に出して「論語」を素読し、先生が優しく解説して下さいます。

安岡定子先生は現在、「銀座寺子屋こども論語塾」、「湯島聖堂こども論語塾」等、全国各地で定例講座は二十三に及び、幼い子どもたちやその保護者に「論語」を講義されている大人気の先生です。そのような方に、龍雲寺で講演して頂けることは大変幸いです。

江戸時代の「寺子屋」のように、お寺を利用してお子様に論語に触れていただける機会になればと考えています。六月よりは、毎月の第一日曜日の午前十時から、龍雲寺において「論語の素読会」も開催します。是非今回の講演に来て頂き、安岡先生の論語をご体験ください。

【日時】 三月二十九日(日)午後三時から四時まで

【場所】 龍雲寺本堂

【講師】 安岡定子先生

【参加費】 大人 二千円 小中学生 五百円

※未就学生は無料

※当日に「子や孫に読み聞かせたい論語」(幻冬舎・千円)をご購入頂きます。

申込み・お問い合わせは 龍雲寺まで

◆野沢龍雲寺・桜ライトアップ

好評を頂きました、

「龍雲寺桜ライトアップ」を今年も開催させていただきます。去年と同じように、照明デザイナーのSPACE CALDO・服部高久氏にお願いして、カラーキネテイクス・ジャパン株式会社のご協力のもと、今年は一



日増やして行きます。また、茶室・南薫亭におきまして、午後三時から龍雲寺茶道部による「普段着のお茶会」もごさいます。気楽な格好でお楽しみ下さい。是非、昼の桜は抹茶とともに、夜の桜はライトとともにご覧下されば幸いです。

ライトアップ

【日時】 四月三日(金)～五日(日)午後六時から九時まで

【場所】 龍雲寺境内

【料金】 無料

普段着のお茶会

【日時】 ライトアップ同日 午後三時から六時まで

【場所】 龍雲寺茶室・南薫亭

【料金】 百円(抹茶とお菓子付き)

※楽な格好で、お気軽にお越し下さい。

募集

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆第九次西国八十八ヶ所巡拝

四月六日(月)～九日(木)
一番札所よりスタート。
春秋二回。二年間で結願 三月十日メ切り

◆第四次西国三十三観音巡礼

五月十八日(月)～二十一日(木)
一番札所よりスタート。
春秋二回。二年間で結願 四月四日メ切り

※どちらも難所はタクシー・ロープウェイ等でお寺に行きます。今回は西国と西国は一番札所からスタートです。ぜひ、この機会にご参加下さい。

◆第十次妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(土)～十七日(月)
ご本山妙心寺のお精霊送りの法要。
お写経・陶器、お数珠作り。三名一室、二名一室、一名一室で連泊。

会館の屋上から送り火を拝め、疲れないように、お昼寝タイムを。
川床や送り火の精進料理をお楽しみ頂けます。
直接お寺にお問い合わせ下さい。資料をお渡しします。お一人で参加でも大丈夫です。
※定員になり次第メ切りに。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

A (一五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円

B (一五〇×一四〇) 永代使用料一一四万円

ABとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事を含まれます。

このままで直ちに納骨できます。右記の額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

◆納骨堂 (お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆NPO 東日本大震災復興支援

「浜ばっぱのぞうきん」

※龍雲寺にて浜ばっぱのぞうきんを置いてあります。
一組四〇〇円